

## VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	有
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

その他を選択した場合	
------------	--

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっぱんしゃだんほうじんじゃばんしんふおにつくういんず 一般社団法人ジャパン・シンフォニック・ウインズ		
代表者職・氏名	代表理事 東 佳樹		
制作団体所在地	〒 160-0022		
	東京都新宿区新宿1-24-7ルネ御苑プラザ420		
電話番号	03-3357-4870	FAX番号	03-3357-4880
ふりがな 公演団体名	しえなういんどおーけすとら シエナ・ウインド・オーケストラ		
代表者職・氏名	事務局長 高澤芳郎		
公演団体所在地	〒 160-0022		
	東京都新宿区新宿1-24-7ルネ御苑プラザ420		
制作団体 設立年月	1990年 月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事:東佳樹 理事:黒岩真美、貝沼拓実 監事:熊代祐子	代表理事1名、理事2名、楽団員30名、事務局員4名。楽団員は実技オーディションにより審査し、合格者は規定の試用期間を経て入団を決定する。	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	高澤芳郎
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	笠井加代子

<p>制作団体沿革</p>	<p>平成2年に、オーディションを経て集まった優秀な若手音楽家たちによってシエナ・ウインド・オーケストラを結成。平成16年に有限責任中間法人ジャパン・シンフォニック・ウインズとして法人登記。平成21年に公益法人制度改革により会社法人を一般社団法人に変更。 平成22年文京区および公益財団法人文京アカデミー、平成23年学校法人尚美学園、平成28年国立大学法人上越教育大学および上越文化会館、平成29年学校法人同朋学園名古屋音楽大学、平成30年静岡県富士市および公益財団法人富士市文化振興財団とそれぞれ事業協定を締結、現在、文京シビックホールをフランチャイズとしシエナ・ウインド・オーケストラを運営。各協定団体と連携し、地域に密着した活動やエデュケーションな取り組みを展開している。</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>【令和元年度】 北区立王子第五小学校、北区立西ヶ丘小学校、文京区立第十中学校、文京区立第九中学校、南房総市立富山小学校、南房総市立三芳小学校、鴨川市立東条小学校、大網白里市立増穂中学校、千葉市立磯辺小学校、台東区立黒門小学校、立川市立上砂川小学校、青梅市立若草小学校、品川区立第一日野小学校、能代市立能代南中学校、栃木県立佐野高等学校、栃木県立佐野東高等学校、栃木県立佐野松陽高等学校、桜川市立坂戸小学校、神栖市立波崎西小学校、行方市立北浦中学校、鹿嶋市立鹿島中学校、阿見町立舟島小学校、聖学院高等学校、八王子市立第八小学校、潮来市立牛堀中学校、銚子市立高神小学校、富士市立中学校16校にて実施 【令和2年度】 ふじみ野市立西小学校、さいたま市立与野八幡小学校、前橋市立総社小学校、みどり市立あずま小学校、小山市立乙女中学校、富岡市立額部小学校、郡山市立柴宮小学校、福島市立平田小学校、南相馬市立第三中学校、狭山市立富士見小学校にて実施 【令和3年度】 西条市立小松小学校、新居浜市立西中学校、新居浜市立中萩中学校、石井町立石井中学校、多度津町立多度津小学校、多度津町立豊原小学校にて実施</p>		
<p>特別支援学校における 公演実績</p>	<p>平成19年度 北海道遠軽市内音楽鑑賞教室にて普通学級と合同で実施 平成26年度 大阪府立豊中支援学校にて音楽鑑賞教室を実施 平成29年度 山梨県立ふじざくら支援学校にて実施 令和元年度 都立羽村特別支援学校、都立南花畑特別支援学校にて実施</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有</p> <p>無</p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>
	<p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有</p> <p><a href="https://www.dropbox.com/sh/a23hx5mhn7l33v/AAAm_NRp7gQW4ie49zm8lIHKa?dl=0">https://www.dropbox.com/sh/a23hx5mhn7l33v/AAAm_NRp7gQW4ie49zm8lIHKa?dl=0</a></p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 シエナ・ウインド・オーケストラ】

対象	<input type="radio"/>	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	中学生		
	<input type="radio"/>	小学生(中学年)				
	<input type="radio"/>	小学生(高学年)				
企画名	<p style="text-align: center;"><b>オーケストラ探検隊</b> ～音楽ってなんだ??～</p>					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>【オープニング】バーンスタイン:キャンディード序曲</p> <p>サン=サーンス:組曲「動物の謝肉祭」より「序奏と獅子王の行進」～“めんどりとおんどり”～“ぞう”～“カンガル”～“水族館”～“化石”～“終曲”</p> <p>サン=サーンス:交響詩「死の舞踏」</p> <p>スパーク:オリエント急行</p> <p>ハチャトリアン:バレエ音楽「ガイース」より“剣の舞”</p> <p>シュライナー:インマー・クライナー(だんだん小さく)</p> <p>(共演コーナー)ブラード:マンボのビート</p> <p>サン=サーンス:歌劇「サムソンとデリラ」より“パッカナール”</p> <p>【アンコール】河辺公一:高度な技術への指標</p> <p style="text-align: right;">公演時間(約90分)</p>					
著作権	<input type="checkbox"/>	制作団体が所有	<input type="checkbox"/>	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得予定	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾状況
演目概要	<p>本公演は「音楽ってなんだ??」という禅問答のような副題をあえて冠し、オーケストラが実演していくことを探検隊に見立て、子どもたちに音楽鑑賞の楽しさを伝えていくことを目的としています。</p> <p>オーケストラを初めて聴く子どもたちに対して、私たちはどのようなアプローチで臨むかをあらためて考えてみました。</p> <p>特に吹奏楽においてはその生演奏に接した際、大音量の印象だけが強く残るケースが、これまでの実施校から提供された感想文などに多く見受けられました。子どもたちの自由な発想において鑑賞することも重要ですが、本企画では音楽鑑賞を楽しむ第一歩として、あえて鑑賞前に作曲家の意図や背景などを解説しイメージを補足しながら提案していくことも、将来的にオーケストラファンの拡大につながる一つの方法と考えました。</p> <p>その結果、作曲者の意図が直感的に伝わりやすく、かつオーケストラの演奏をより楽しみやすい楽曲をピックアップしました。低学年でも直感的にイメージしやすい動物や汽車など、身近なものを描写した楽曲や、戦いや宴など行動を表現した作品を配し、高学年や中学生においてはより深く作品に入り込めるような興味深い解説を施すことにより、想像力を刺激するプログラムとなり、全学年に音楽鑑賞の楽しさを伝えることができると考えました。</p>					
演目選択理由	別添あり					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>本公演では共演コーナを設け、ビート感が強いラテン音楽からP.ブラード作曲「マンボのビート」を取り上げます。</p> <p>この曲で、ラテン音楽の基本リズム「スリーター」の手拍子により共演し、さらに曲の途中で打楽器奏者によるリードにより「コール&amp;レスポンス」を用いボディパーカッションでも共演します。</p> <p>ワークショップにおいて、「スリーター」のリズムの練習や、打楽器奏者による「コール&amp;レスポンス」のレクチャーで、楽しく学びます。</p>					
出演者	<p>指揮:井村誠貴もしくは福本信太郎 司会:山下まみ、もしくは戸塚理絵</p> <p>吹奏楽:シエナ・ウインド・オーケストラ(以下メンバー表)</p> <p>Picc:西田紀子、Fl:窪田恵美、重見佳奈 Ob:金子佳代、宮川真人 E♭Cl:木内倫子</p> <p>B♭Cl:佐藤拓馬、飯島泉、黒岩真美、近藤薫、山手寿子、中村めぐみ、佐々木理恵、AltCl:原山佐保子、BassCl:京谷麻里子</p> <p>Fg:鹿野智子、高林美樹 Sax:柴村正吾、江川良子、貝沼拓実、大津立史</p> <p>Hr:林育宏、山下裕也、小田原瑞輝、浅井春香</p> <p>Tp:砂川隆丈、久良木文、熊代祐子、佐藤友紀、上田仁</p> <p>Tb:郡恭一郎、長谷川貴大、山口隼士 Eup:庄司恵子、齋藤充 Tuba:山岸明彦、望月寛隆</p> <p>Per:荻原松美、村居勲、東佳樹、服部恵、関聡 Cb:齋藤ちひろ Hp:井上麗</p>					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 46 名	機材等 運搬方法		積載量: 4tおよび2t t		
スタッフ: 10 名	車 長: 8.75(4t) m 6.19(2t) m					
合計: 56 名	台 数: 各2 台					

【公演団体名 シェナ・ウインド・オーケストラ】

実施に当たっての会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		2	時間程度
	※午前中の公演開催の場合は前日仕込みが必要					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～11時	13時30分～15時	10分	15時～16時半	17時
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時間分程度です。						
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	1～500名程度				
	本公演	会場収容可能人数				
ワークショップ 実施形態及び内容	木管楽器奏者1名、金管楽器奏者1名、打楽器奏者1名、ピアノ奏者1名、司会者1名、スタッフ1名にて行います。木管楽器と金管楽器の音の出る仕組みを解説し、ピアノ伴奏によるソロ曲の実演で楽器の音色を実際に体感します。その後は打楽器奏者により、様々な種類の打楽器や奏法などをレクチャーしていきます。後半は本公演の楽しみ方のレクチャーや体験コーナーで取り上げるスリープのリズムとボディパーカッションについてのレクチャーと指導を行います。					
ワークショップ 実施形態の意図	吹奏楽は管楽器と打楽器により構成されていることをふまえ、管楽器と打楽器それぞれの音の出る仕組みを実演やクイズなどを交え説明していきます。また、オーケストラとの共演指導ではラテン音楽のリズムやボディパーカッションを実際に体験することで、本公演への期待感を高め、音楽をより身近に感じられるように指導していきます。					
特別支援学校での 実施における工夫点	特別支援学校でも工夫次第で、ほぼかわりなく実施できる内容になっています。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.2	【公演団体名 シエナ・ウインド・オーケストラ】
演目選択理由	<p>オープニングにはL.バーンスタインの<b>キャンディード序曲</b>を選びました。自由な想像を促すべく、事前の解説なく演奏するため、インパクトのある序曲でスタートします。当団では頻繁に演奏しており、CDにも収録されている得意中の得意ともいえる序曲で、まずは子どもたちの目と耳を釘付けにします。</p> <p>2曲目は語り付によるC.サン=サーンス作曲、<b>組曲「動物の謝肉祭」</b>です。この語りは東京藝術大学特任教授で構成作家の新井鷗子氏による「ふしぎな動物園」をもとに以下7曲を抜粋しました。  <b>“序奏と獅子王の行進”～“めんどりとおんどり”～“ぞう”～“カンガルー”～“水族館”～“化石”～“終曲”</b>          語りの内容は参考音源にもアップしていますが、主人公の「ぼく」が留守番をしている間にまどろみ、夢の中で体験した「不思議な動物園」でのお話になっており、子どもから大人まで楽しめるように工夫されています。</p> <p>3曲目は一変してスリラーチックな音楽を配しました。前曲同様C.サン=サーンスが作曲した<b>交響詩「死の舞踏」</b>です。前段「動物の謝肉祭」「化石」のモチーフになった楽曲です。真夜中の墓場に現れた死神がヴァイオリンを奏でると多数の骸骨が音楽に合わせて奇妙なダンスを踊り出し、明け方ニワトリの鳴き声を合図に墓場に戻っていくという奇抜なストーリーは、怖いながらも子どもたちの想像力をかき立てると思い選曲しました。吹奏楽ではヴァイオリンはありませんが、アレンジによりサクソフォンがその重要な役割を担います。</p> <p>前半最後はイギリスの作曲家P.スパークが作曲した<b>オリエント急行</b>です。この曲は元々 brass band のために作られましたが、その後吹奏楽の編成にアレンジされたことにより日本で人気曲になりました。作曲者のスパークを当団はこれまでに2度招聘し、本人のタクトにより公演を行っています。          曲はヨーロッパの主要都市を颯爽と駆け抜けるオリエント急行を描写した楽曲で、列車の出発から到着までを表現しており、車掌が吹くホイッスルや窓外に流れる景色、力強く急勾配を登る様子などが見事に表現されており、イメージが膨らむ楽曲です。</p> <p>休憩を挟み後半はA.ハチャトリアン作曲の<b>バレエ音楽「ガイヌ」より“剣の舞”</b>からスタートします。クルド人が剣を振り回しながら戦いの踊りを踊る様子を表現しているといわれるこの楽曲は、令和3年度の当事業の別企画でも取り上げていますが、すでに演奏した5校のいずれでも大変反応がよく、中でも低学年から「もっきんのひとのえんそうがすごい！」とか「はくりよくがあってすごい！」などたくさんの感想が寄せられていることを受け、選曲しました。</p> <p>次に選んだ曲はA.シュライナー作曲<b>インマー・クライナー (だんだん小さく)</b>です。          この曲はクラリネットのソロによる楽曲です。大変珍しい趣向の作品で、曲が進むにつれ管を抜いてだんだん楽器が短くなりながら演奏していく視覚的にも楽しい曲です。まさにオーケストラのエンタメ作品として子どもたちに純粋に楽しんでもらおうと思い選曲しました。</p>	<p>ここで共演コーナを配しました。ビート感が強いラテン音楽Pブラード作曲<b>マンボのビート</b>で「スリーパー」のリズムを手拍子で共演します。さらに曲の途中で打楽器奏者によるリードで「コール&amp;レスポンス」によりボディパーカッションで共演します。</p> <p>最後の曲として選んだのはサン=サーンスの<b>歌劇「サムソンとデリラ」より“バッカナール”</b>です。          バレスチナが舞台のこのオペラはペリシテ人とヘブライ人の争いを描いた愛憎渦巻く内容で、全体のストーリーについては子どもたちにとっては到底理解不能ですが、第3幕の第2場で演奏されるバッカナールは、エキゾチックな旋律が印象的で子どもたちの想像力を刺激することまちがいなしの楽曲と思い選びました。あえて子どもたちの視線で大人たちが繰り広げる宴の様子を自由に発想しながらオリエンタリズムにあふれるこの曲を楽しんでもらえればと思います。オペラではこの曲のあとに、宴が行われた神殿が崩壊し、ドタバタで幕を閉じますが、そこは伏せて演奏のみ楽しんでいただこうと思います。</p> <p>アンコールとして用意したのは河辺公一作曲の<b>高度な技術への指標</b>です。仰々しい題名のこの曲は全日本吹奏楽コンクールの課題曲として作曲されました。その名の通り高度な演奏技術が求められる作品ですが、曲想は華やかで随所にスタンドアッププレイを織り交ぜ、中間部はジャズテイストに仕上げられた、見ても聴いてもとても楽しい曲です。当団ではオープニングとして頻繁に演奏していますが、あえて最後のアンコールとして取り上げてみました。いろいろな表現の楽曲を取り上げてきましたが、最後にはプロとしてのテクニックを存分に披露する華やかな楽曲を子どもたちに届けたいと思い、選曲しました。</p>



# オーケストラ探検隊

～音楽ってなんだ??～

音楽ってなんだろ??プロの吹奏楽団として長年活動するシエナ・ウインド・オーケストラがそんな疑問に体当たり！動物や汽車、戦いや宴を表現した楽しい曲を聴きながら音楽の魅力に迫る、とても興味深い内容のコンサートです。

ボディ・パーカッションによる共演コーナーもあり、時間がたつのを忘れてしまいます。この機会にぜひシエナのコンサートをみなさんの学校にお招きください!!



©kenji Shimizu

シエナ・ウインド・オーケストラ

1990年に結成されたプロフェッショナルのウインド・オーケストラ。現在、文京シビックホールを拠点に演奏活動を展開し高い人気を誇っている。2010年文京区と事業提携を結び、地域や教育機関と密着した活動も積極的に展開している。  
<http://sienawind.com/>

## 【プログラム】

バーンスタイン：キャンディード序曲

サン=サーンス：組曲「動物の謝肉祭」より

“序奏と獅子王の行進”～“めんどりとおんどり”～“ぞう”～“カンガルー”～“水族館”～“化石”～“終曲”

サン=サーンス：交響詩「死の舞踏」

スパーク：オリエント急行

ハチャトリアン：バレエ音楽「ガイヌ」より“剣の舞”

シュライナー：インマー・クライナー（だんだん小さく）

（共演コーナー）ブラード：マンボのビート

サン=サーンス：歌劇「サムソンとデリラ」より“バッカナール”

【アンコール】 河辺公一：高度な技術への指標

## 【指揮】井村誠貴（いむらまさき）



オペラ指揮者。2013年には年間オペラ公演回数が日本人第1位になるなどオペラ指揮者としての地位を確立。管弦楽では大阪響、京都市響、名古屋フィル、セントラル愛知響等を客演。近年はミュージカルにも活動の場を広げ、「マイ・フェアレディ」「レ・ミゼラブル」等のロングラン公演を成功させ、ライブCD及びDVDを発売。また、岩崎宏美や夏川りみといった実力派シンガーとの共演も多く、コンサートでの軽妙なトークも話題となっている。

## 【司会】山下まみ（やましたまみ）



声優。北海道出身。TV/映画の代表作  
・NTV「every」リポーター  
・NHK「NEWS WEB」（つばやきリーダー）  
・Tokyo7th Sisters（九条ウメ）  
・けものフレンズ（マーゲイ）  
・BanG Dream！（山吹千紘）

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	C32	分野	音楽	種目	オーケストラ等	ブロック	C	区分	A区分
公演団体名	シエナ・ウインド・オーケストラ				制作団体名	一般社団法人 ジャパン・シンフォニック・ウインズ			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等								応相談
控室について	必要数 *	4室	条件		小部屋2室、大部屋2室				可
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *				大型バス	2台	4tトラック	2台	可
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細				4t不可の場合、周辺で2tに積み替えピストンで運搬の実績あり				/
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ				4tトラック(全長8.75m 全幅2.49m 全高3.34)				可
	搬入車両の横づけの要否 *				要				可
	横づけができない場合の搬入可能距離 *				30m以内				可
	搬入経路の最低条件				公演会場は1階に設置されていることが望ましい。				可
	理由				大量の楽器類をカーゴに詰めて運搬するほか、大型楽器はキャスターや台車で転がして運搬するため。				/
	設置階の制限 *				エレベーターの設置等があれば2階以上も可				可
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.5m	高さ	2.2m			可
WSについて	参加可能人数		制限無し(会場収容人数まで)						可
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *					—	
	所要時間の目安 単位:分	80分～90分						可	
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					/
	鑑賞可能人数			制限無し(会場収容人数まで)					可
	舞台設置場所 *			ステージ上・フロアの両方					可
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	15m	奥行	11m	高さ	指定なし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要				可
		舞台袖スペースの条件 *			荷物があまり無い状態が望ましい				可
		緞帳 *	不要		バトン *	不要			—
	遮光(暗幕等)の要否 *			不要	理由				—
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *			不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			—
		ピアノの事前調律 *			不要				—
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況 *			格納されていれば可				可
	公演に必要な電源容量			20A	※主幹電源の必要容量				可
その他特記事項								応相談	

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.5m	高さ	2.2m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		30m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

